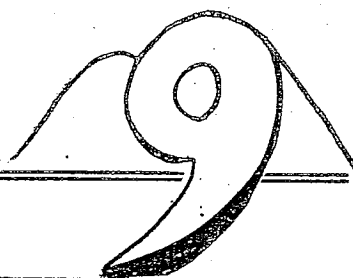


未来をひらく

竜爪山九条の会 会報

事務局 静岡市葵区古庄3-19-34 (五井卓 方)
電話 264-4918



2007年3月

竜爪山九条の会 正式に発足

発会のつどいに120名を超える参加者

憲法改悪の動きが急速になる中、昨夏から準備が進められてきた葵区東部地域の「九条の会」が正式に発足し、その「発会のつどい」が、2月12日午後1時半から瀬名公民館でおこなわれました。会場は120名を超える参加者でいっぱいになりました。



写真：「歴史を学ぶということ、憲法を守るということ」と題して講演する

歴史学者の小和田哲男静岡大学教授。

「発会のつどい」のようす

会は宮秀雄さんの独唱で始まり、呼びかけ人代表栗田寛さんの主催者挨拶、有度山麓九条の会からの連帯挨拶、静岡大学佐藤博明元学長のメッセージ紹介の後、事務局長五井卓さんが経過報告と活動方針提案をおこない、会の正式名称が「竜爪山九条の会」に決定しました。

続いて、小和田哲男静岡大学教授が「私は上土の出身で、そういう地縁もあって、竜爪山九条の会発会ということで記念講演させていただく」と前置きし、「歴史を学ぶということ、憲法を守るということ」と題して講演。会場には案内ビラで会を知った学生たちも参加、熱心に質問していました。会は望月貞夫さんの民謡で、なごやかなうちに閉会しました。

小和田先生のお話し(ポイント)

昨年のNHK大河ドラマ「功名が辻」時代考証と、今年の「風林火山」裏話。

「歴史」とは「過去に起こった出来事の記録」。つまり、記録として残らなければ歴史ではない。歴史は勝者達、権力者が自分に都合のよい歴史を書いてしまう傾向があるので、それだけで本当の歴史は見えてこない。大きな歴史だけでなく、地元の小さな歴史を明らかにしてゆかなければいけない部分もある。

トピック的に語る地元の歴史（今川氏・堀越氏・瀬名氏、瀬名氏を名乗った堀越一秀のこと。梶原景時のこと。千代田村について。など）

歴史を学ぶ面白さ——鏡はそこに過去を映し、未来を照らす（歴史は鏡）。
それとともに「見方、受け取り方によって、一つの事実も異なって見えてくる。」

われわれは歴史の傍観者でなく、歴史を動かしている小さな歯車の一つ。歴史は結果。「歴史に学ぶ」とは、結果の出る前の段階に自分を置いてみること。

九条を守る運動をしていくことで、歴史に主体的に参加することになる。

発会のつどい 意見・感想 から

★入口（9条）についての質疑がほしかった。改正したらどうなるのか。もし敵が攻めて来たら誰がどうして守るのか。外交交渉で日本を守れるのか。

★意外にも若い方の参加があった事と、しっかりとした考えのもとに活発な意見があった事、とても頼もしく嬉しくなりました。自分も少しでも意識を持って勉強していきたいと思いました。

★成人した孫が徴兵されて戦場に散り、県下73000の戦没者の仲間入りはさせたくないから、9条は温存したい。若年層が何人か「つどい」に見えて、うれしかった。彼等は将来9条に直接かかわって行くのだから、多くの若者パワーを結集する努力が必要。

★講演会やパンフ配布等で一般の人の関心を広めたい。若い人に戦争の恐ろしさを語り伝える方法を考えたい。

★呼びかけ人の立場として、小型のパンフ（九条関係はもとより、憲法そのものを簡潔に判り易くしたもの）等を手掛りに、賛同者を増やす事も良いのではないかと思いますので、費用がかかりますが、御考え下さい。

★憲法に関する集会ですから、憲法内容を充実したものが望ましいと考えます。出席者の意見も参考にしたいと思います。

意見・感想 ありがとうございます

「九条についての詳しい話しが聞かれると思って楽しみにしていたのに残念」「なぜ憲法を改革しなければならないのか、今のままでは、なぜいけないのか。そういう話しを聞きたかった」「例えば、東シナ海の中国の天然ガス発掘の問題など、どうしてかなと思うようなものを選んで説明を聞かせてほしい。」など、「発会のつどい」の持ち方にも、さまざまな要望がありました。講演内容も含め、盛りだくさんにしたため、物足りなさを感じられた方もあると思います。今後、学習会をはじめとする企画に、今回出された要望を活かしていきたいと思います。(事務局)

竜爪山九条の会 引き続き、有権者の過半数以上の賛同者めざして！

呼びかけ人119名 賛同者158名 計277名 になりました

竜爪山九条の会 学習会

国民投票法案について 4月22日(日)13:30~15:30 東部公民館

「九条の会」憲法セミナー 国際紛争の解決は9条の心で

3月10日(土)13:30~ ニッセイ駅前ビル2階 参加費1000円

伊勢崎賢治(東京外語大教授)・小田実(作家)

日本人の誇りを憲法に託した鈴木安蔵 映画「日本の青空」

当日1200円 3月27日(火)13時・16時・19時 市民文化会館中ホール